

## 資産家の英断

熊本県・熊本市立出水中学校 3年 野田 京

「お金持ちになりたい。」

誰でも一度はそう思ったことがあるのではないのでしょうか。お金があれば欲しいものは大抵手に入ります。豪邸に住む。外車を買う。世界旅行に行く。カジノでガッポリ儲ける。世界中の人の憧れなのではないのでしょうか。私の夢は、ファッションデザイナーですが、実をいうと、世界を股にかけるデザイナーになって、優雅な生活をおくりたいとも思っています。

しかし、お金が無いと幸せは手に入らないのでしょうか。豪華な暮らしは裏を返せば無駄遣いとも言え換えられるのではないのでしょうか。そんな疑問が頭の中を過ります。

最近、『夢をかなえるゾウ』\*という本を読み、二人の偉人について知り、夢とお金に対する意識が変わったように感じます。

その本の一節には、

「偉大な仕事をする人間はな、マジで世の中よくしたいて純粹に思て生きてんねんで。せやからその分、でっかいお金、流れ込んでくんねん。お金だけやない。人から愛されたり、幸せで満たされたり、もういっぱいええもんが流れてくんねん」

と書いてあり、人の幸せを願う気持ちの重要性を知りました。

人を幸せにするといえば寄付ぐらいしか思い浮かばないのですが、私は今まで、募金こそしたことはあっても継続した例がありません。

ロックフェラーという、石油会社をつくった人物は、まだ、お金持ちでない、若い頃から続けていた習慣が、収入の1割を、寄付することでした。収入の1割といえば、1万円稼いだら1,000円に値する額です。そんなことを若い頃から続けている人は、ほとんどいないと思います。彼が、お金持ちになっても寄付を続けた理由、それは、単純に人を喜ばせたかったからです。人を喜ばせたいの一心で、多額のお金を寄付するという、その器の大きさに感動しました。

ファッション業界でお馴染みのチャンネルは、私にとってアイドル的存在の人物です。

彼女の登場が、女性の社会進出を促したというのを知って、人に夢や希望

を与えられる人間になりたいと思いました。

私がファッションデザイナーとしてお金持ちになりたいのは、幼い頃の野生動物を守りたいという夢も叶えたいという、欲張りの気持ちが少し入り交じっているからです。もちろん、ファッションは大好きです。しかし、それと同じくらい幼い頃の夢は、捨て難いのです。

人間は能力があるが故に、他の生き物を苦しめているのです。私たちの生活が豊かになればなる程、傷つく生き物がいるのです。皮肉なことだと思いませんか。私は、そんな世の中の悪循環を変え、傷ついている生き物を助けたいのです。

「お金が無くても、優しい心があれば生きていける。」

これに似たような言葉でも、聞いたことがある人は、多数いるのではないのでしょうか。夢の無いことを言うようですが、今の世の中では、到底こんなことを言ってもらえないと私は考えます。優しい心だけで生きていけるなら、それが一番良いのは分かっています。しかし、それは無理に等しいことです。

例えば、野生動物保護施設を作るとします。スタッフはボランティアの人が来ても、食料代、治療費など、お金は不可欠です。世の中は最終的に、お金が必要なのです。

お金が必要だからこそ、世の中の資産家は、お金を正しく使わないと思います。豪邸でなく、ごく普通の家でも生活していくことは可能です。豪邸と普通の家との差額で、どれだけ世界に貢献できることでしょうか。そんなことが、中学生の私でも分かるのに、なぜ人生の先輩方は、分からないのだろうといつも思います。

自分だけでなく、周りの人までも幸せにするのが、<sup>まさ</sup>に、生きたお金の使い方であって、損することなど、何一つないと思います。況して、一石二鳥のおいしい話だと思います。

この<sup>ねじ</sup>捻れた世の中を悪化させるも、元に戻すも、私たち人間。どう考えても、元に戻して、世界中の生き物が幸せに暮らせる世の中にする方がいいと思いませんか。

全ては、あなたの心の決断次第です。

少なくとも、私は、ロックフェラーの器の広さとシャネルの人物を見習って、世の中の悪循環をストップさせたい、と思います。

事務局注※ 水野敬也『夢をかなえるゾウ』飛鳥新社、2007年